



こんにちは。トリプルアイズの白石です。
いつもお読みいただきありがとうございます。

皆さま、シルバーウィークいかがお過ごしでしたか？

今週は「返済不要の助成金を活用して自社の DX を進める企業が増えています！」「介護施設へ AIZE 導入」、好評連載「AI エンジニアの仕事 1 問 1 答」など盛りだくさんの内容でお届けします。ぜひ最後までご覧ください！

-----<目次>-----

1. 返済不要の助成金を活用して社内の DX を進める企業が増えています！
2. トリプルニュース
3. 【プチ連載】 AI エンジニアの仕事 1 問 1 答
4. IT 批評
5. 編集後記

1. 返済不要の助成金を活用して社内の DX を進める企業が増えています！

社内の DX を進めたい、社員に DX 研修を受けさせたい、だけどなかなか予算が取れない。そんな悩みを持つ中小企業さんの声をよくお聞きします。

日本には、さまざまな公的支援制度（補助金・助成金）があることをご存知でしょうか？その数なんと **3000 種類**！これは年間に発表されている公的支援制度の数です。

ひと口に公的支援と言っても、補助金と助成金は性格が違います。「助成金」は要件を満たせば受給できる可能性が高いものを指し、対して「補助金」は採択件数や金額があらかじめ決まっているものが多く、申請したからといって必ずしも受給できるわけではありません。

どのくらいの支援を受けられるのかというと、助成金の場合、**中央値で 278 万円**で、従業員規模や業種による違いはほとんどないそうです（株式会社ライトアップ調べ）。

助成金は要件さえ満たせば受給できる可能性が高いのですが、申請したことがあるという企業は**わずか 20%台**にとどまっています。先に挙げたように制度がたくさんありすぎて、自分の会社がどれに当てはまるのかがわかりにくいから、というのが大きな理由のようです。

もし、自社の簡単なプロフィール（従業員数や社会保険、改善したい業務など）を画面でチェックするだけで、受給可能な助成金が表示されるとしたらどうでしょうか。とても便利ですよ。

トリプルアイズではこの 9 月から、3 分で完了する**助成金診断ツール**をご用意いたしました。たった 7 つの質問で活用可能な助成金が複数表示されます。ご興味のある方は、ぜひ下記メールアドレスまでご相談ください。

info@aize.jp

また、**IT 導入補助金制度**でもトリプルアイズは支援事業者にて採択されています。「AIZE」や「IT おたすけラボ」が IT ツールとして登録されていますので、こちらもご興味のある方は、ぜひご相談ください。

AIZE Biz+ は [こちら](#)

IT おたすけラボは [こちら](#)

2. トリプルニュース

地域密着型の介護サービスを展開する「あじさい様」コロナ対策に AIZE 導入



群馬県で介護サービス事業を展開する有限会社あじさい様では AIZE Biz+ を 14 台導入いただいています。

利用者様、職員の皆さまの健康管理を AI 顔認証+検温を使ってスムーズに行うことが目的です。

有限会社あじさい様の HP は[こちら](#)

今回は施設マネージャー、石原様にお話を伺いました。

Q.AIZE 導入のメリットを教えてください。

A.ガンタイプの検温器から AIZE Biz+へ替えたことで「検温渋滞」の解消につながりました。職員やご家族からも、「施設にこういったものがあると安心できる」と声が聞かれます。

Q.感染症対策はどのように行われていますか？

A.換気・消毒は一日に何度も小まめに実施しています。ウイルスは外部から入ってくるという認識があるため、会社としても「職員が持ち込まない」意識を高く持つようにしています。AIZE Biz+で出勤時に職員がスムーズな検温ができることは職員の負担軽減となり、健康状態も把握できることからコロナ対策に役立っているという感触があります。

Q.今後はどのような活用をしていきたいですか？

A. 現在は検温機として利用していますが、今後は顔認証で取得した個人データの活用ができれば便利になると思います。利用者一人ひとりの検温管理と職員の勤怠管理ができたと思っています。

導入、取材にあたり弊社販売パートナーのイノテック株式会社様にも大変ご尽力いただきました。

あじさい様、イノテック様、ありがとうございました！

全文は[こちら](#)

3. 【プチ連載】 AI エンジニアの仕事 1 問 1 答

AI エンジニアはいったいどんな仕事をしているのでしょうか？ 好評につき 3 回目をお送りします。

第 3 回 趣味の囲碁 AI から AI エンジニアへ 中堅エンジニア M さん

AIZE 開発部に所属するエンジニア M さんに話を伺いました。大学の研究室では分散コンピュータや将棋ソフトを学ばれていたとか。卒業後は CAD やグラフィックソフトを作る業務を経験されていました。将棋でコンピュータが人間を超えたと言われた頃、次はコンピュータ囲碁が来るだろうと、アルファ碁が現れる以前からディープラーニングの勉強を始めていたそうです。

Q 現在の仕事は？

A AIZE の顔認証の改善が主な業務です。AIZE の精度を上げたり機能を増やしたりするために、文献を探して、改善方法を考えて、プログラミングして、実装して、検証するというサイクルを繰り返しています。

Q AI エンジニアの面白さは？

A 試してみないと結果が出ないところが面白いところであり、面倒なところでもあります。試すことで予想外の結果が得られたり、新たな法則性を見出したりした時には嬉しいですね。ミクロに見ると理屈は通っていても、数万、数千万というデータが集まるとブラックボックス化してしまうところが機械学習の難しさだと思います。

Q AI エンジニアの将来性は？

A AI の活用はまだこれからですので、いろんな道が開かれていると思います。研究的に人工知能を突き詰めていくのはもちろん素晴らしいことですが、すでにある AI 技術を活用して身近なところから生活やビジネスを便利にしていくというのも AI エンジニアの大事な役割だと思います。

【AT20】反響続々！ AI エンジニア育成のための通信教育プログラム



通信教育方式で毎週の課題をこなしながら実務で通用する AI エンジニアリングの技能を身につけるこのプログラム、おかげさまでたくさんのお問い合わせをいただいております。

AT20 は、習熟度に合わせて学習スケジュールを決められる 4 つのコースを設けております。

- ・ 入門コース
- ・ Python 基礎コース
- ・ エンジニア初級コース
- ・ エンジニア中級コース

プログラムは随時スタートすることができますので、まずはお問い合わせください。

詳細は [こちら](#)

4. IT 批評

デジタル庁は“デジタル敗戦”挽回の道筋を描けるか？

——アジア・パシフィック・イニシアティブ主任研究員・向山淳氏に聞く



今月は、民間人を大胆に起用して注目を集めるデジタル庁にフォーカスしました。新型コロナ対応・民間臨時調査会ワーキング・メンバーである一般財団法人アジア・パシフィック・イニシアティブ（API）主任研究員・向山淳氏に、日本のデジタル政策の問題点とデジタル庁が果たす役割について解説してもらいました。

デジタル庁は日本社会の DX を進めることができるのか？ 必読の記事です！

<https://it-hiyou.com/>

編集後記

今回もトリプルマガジンをお読みいただきありがとうございました。

補助金を使って AIZE を導入いただいている企業様も多くいらっしゃいます。

単にコロナ対策に終わらず、アフターコロナも見据えて AI のスモールスタートができるのが AIZE の強みです。

今後も皆さまと AIZE を使いやすく成長させていけたらと思います。

それでは、次回のトリプルマガジンもお楽しみに！
